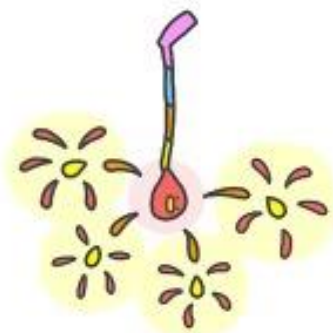


『さいせき・函館』… 20150721号



瞬間に本年も折り返しの月が始まっています。道南は、心配されていた台風の影響も殆どないようですが、被害に遭われた南海地方の皆様にはお見舞いを申し上げたいと思います。私は雨風の中、仕事をしていると何故か単純に宮沢賢治の例の詩が頭をよぎります。『雨も負けず、風にも負けず……』しかし、本当の意味を理解しないでタダで出だけを口ずさむワケですが、何となく負けてなるものか。となってしまう。宮沢賢治は、この詩を生前に発表したのではなく死後見つかった手帳に書かれていたメモであったものが今は、彼の代表作になっている事はあまり知られていません。目的ばかり書かれた内容ですが、『…そういうものに私はなりたい。』で終わっています。まさしく不都合な時ほど私も架空の誰かになって、何とか現実に対して真っ向から受けて立つほどの強い精神力を持ちたいと思いますが、現代はそんなことを言っていたら『勝手にどうぞ』と言

われそうな気がしてなりません、残り半年、気象条件も一層厳しくなります。暑い、寒い慣れている砕石業です。しかし、安全だけは、幾ら注意しても慣れることはありません。今年も残り『安全第一』でがんばるべし。

◇北海道砕石協同組合連合会・(一社) 日本砕石協会北海道地方本部の動向

- ①日砕協本部の執行部が新体制になりました。会長は井上勝次氏から西村耕一氏に、副会長は、道本部本部長の岡本繁美氏と他1名の再選。1名の新任となっています。
- ②道本部事務局長の変更が報告されています。前任の毛利氏から安室正彦氏が就任致しました。前任の毛利氏は協会の組織存続に向けた取組を前面に出して強いリーダーシップを発揮された方でしたが、後任の事務局長様には、何をテーマとして当会を補助していかれるのか。本部の情報をどの段階でどの程度、各支部に提供して全体としての協調を進めていくのか。不明ですが事務作業に流されない局長であることを期待します。
- ③『開発建設部設計採算法に関する実態調査』の調査依頼が各支部に出されており、7月30日の東京開催の事務局長会議にて協議するとのこと。…函館支部は各社の意見を集約して提出致します。

◇道南地区砕石協同組合・(一社) 日本砕石協会北海道地方本部函館支部の動向

- ①7月28日午後2時から『開発建設部設計採算法に関する実態調査』の調査依頼について、21日迄として各社に対しての調査意見を集約する形で流通委員会を開催致します。その結果を本部に報告提案して参りたいと考えています。当会としては、以前よりゾーン価格のあり方については問題視してきた訳で、この調査依頼はタダの調査で終わらないようにしたいと考えております。
- ②研修会や各団体との意見交換について
総会時にお送りした上記内容について、提案があれば報告して頂きたいと思います。
- ③親会にひと言… (近頃ちょっと腹立たしい事が多いせいにか八つ当たりかも…)
日本砕石協会は、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 (JEED) から委託を受け、2ヶ年にわたり「採石業高齢者雇用推進事業」を実施するそうです。その中で友田専務理事の実施に向けた経緯の説明が砕石新聞に載っております。その中で「砕石業は山間部での事業が中心であるため若年層労働者の雇用が難しい場合が多い。したがって高齢者を如何に上手に雇用していくかを考える必要がある…」何かおもしろくありません。砕石業に対して若年層労働者は何故無理なのか。原因を最初から決め付けて本部として何もこれと言った方策もなく、ただ高齢者を上手く使って下さいとはまったく話になりません。事業の意義は理解しますが、本質的問題解決に取り組むことも同時に進めるべきであります。だいいち高齢者を上手く使うにも各事業所の実態として高齢者の長年の経験と実績を頼りにしながら若年層労働力確保に翻弄している業種であることを理解すべきです。完全に上から目線ががっかりでした。…皆さんはどう思いますか。
- ④協会夏期休暇日程について
8月13日 (木) から16日 (日) までです。
8月11日 (火)・12日 (水) は、道本部事務局長会議が開催され、事務局吉田が出席しますので、留守になります。

協会に対してのご意見、ご要望がありましたら、いつでもご連絡下さい。